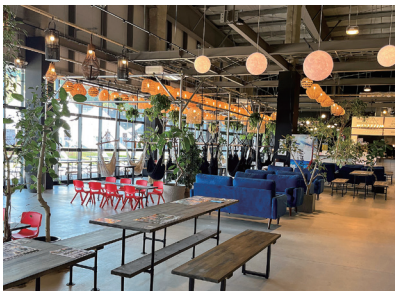




原 俊之 (ハラトシユキ)

大阪芸術大学 建築学科 (A97)
2001年卒業

株式会社antiqua取締役、株式会社ツリーカフェ代表取締役、WHATAWONオーナーとして、多岐にわたる分野で成功を収めています。2024年にグランドオープンした次世代型キャッシュレスモールWHATAWONの革新的な運営を指揮し、幅広い顧客層を獲得。メディア出演歴も豊富で、日本のエンターテインメント業界に新たな風を吹き込むリーダーシップを発揮しています。



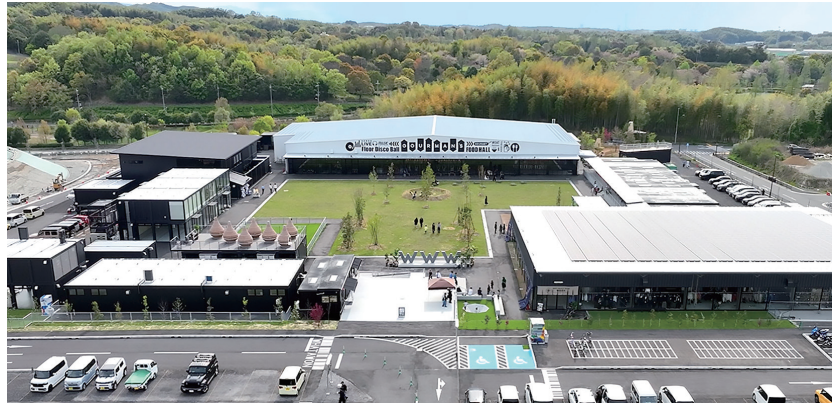
施設内 フードホール「グルマンズ」



施設内 物販棟「WBOX」



WHATAWON (ワタワン)
公式サイト



エンターテインメントモール「WHATAWON (ワタワン)」

自分の道を切り開く覚悟

学生時代の振り返り

高校時代、私はアメリカンフットボールに全力を注ぎ、一流大学にスポーツ推薦で入学し、大手企業に就職するという明確な目標を持っていました。しかし、怪我によってその夢は打ち砕かれました。この経験から、私は他人が用意した梯子がいつ外されるか分からないことを痛感し、自分を信じて判断し、自らの力で人生を切り開かなければならないと悟りました。この教訓が、その後の私の人生において大きな影響を与え、どんな状況でも自分の信念を貫く力となりました。

その後、私はアメフトから離れたものの、音楽に情熱を注ぎました。DJとして活動し、HIPHOP、Techno、Goa Tranceといったジャンルを通じて多くの仲間とつながり、イベントを主催して人々を集めるという新しい挑戦を始めました。この学生時代に築いた人脈と経験は、今の私の礎となっています。

現在の挑戦と未来への展望

高校時代に学んだ教訓は、今でも私の人生の軸となっています。平川商事株式会社で13年間の経験を積んだ後、2014年に独立し、現在はantiquaの取締役として事業を展開しています。そして、2022年に日本初の完全キャッシュレスエンターテインメントモール、WHATAWON (ワタワン) プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトには自己資金40億円を投入し、全てをかけました。WHATAWONは単なるショッピングモールではなく、日常を超えた特別な体験を提供する場所です。特に、2024年5月1日のグランドオープンは、私にとって一つの大きな節目であり、これまでの努力が形となった瞬間でした。

大阪芸術大学を通じていただいたご縁を大切に、今後はWHATAWONの2号店の展開や、antiquaブランドの海外進出を視野に入れていきます。学生時代に培った経験と出会いを活かしつつ、自分を信じて進むという信念を胸に、限界を超え、常識に挑戦し続ける覚悟です。そして、今後も大阪芸術大学の卒業生や在学生と共に、新たな挑戦やクリエイティブなプロジェクトを通じて盛り上げていきたいと考えています。



施設内 モニュメント「WWW」



施設内 ライブ会場「floor disco ball」



施設内 温浴施設「京町湯屋 SOKOTOTO」